

# 霧ヶ峰高原

2016年7月6日  
NHKラジオ

霧ヶ峰は長野県諏訪湖の北東に位置する高原。日本のグライダー発祥の地としても有名。その名前は信州(長野)の雄大な自然が残る溶岩高原、眺望の優れた高原として知られています。

霧ヶ峰の名前は有名ですが、霧ヶ峰という峰や山はありません。

霧ヶ峰高原の一番高い山は日本百名山にも数えられる車山で、車山を中心に東西10キロ、南北15キロに広がる標高1600mの高原が霧ヶ峰高原です。高原はこのビーナスラインの中でも、もっとも美しい高原と言われ、展望や高山植物など豊かな自然に恵まれた高原です。

一望さえぎるものもなく柔らかな起伏が続き、初夏から夏にかけてレンゲツツジやニッコウキスゲの花が咲き誇ります。



霧ヶ峰は深く濃い霧で覆われることが多い事が、霧ヶ峰高原の名の由来となりました。

霧が峰高原に点在する湿原は、高層湿原としては日本での南限で、八島ヶ原湿原、車山湿原、踊場湿原の3つの湿原をあわせて国の天然記念物に指定されています。

三菱電機の世界ブランドのエアコン「霧ヶ峰」、の名前の由来でもあり、霧が峰の名前は世界中に知られています。